

「何か」が足りない。「何」が足りない? ～夏休み明けテストの結果から～

夏休み明けテストの結果から見えてきたことがある。これは今確実に自分のこととして考えて、すぐにでも行動に移さなければならない大切なことである。先生の見ている先は、常に2年と4ヶ月後の進路の決定場面であることを踏まえて考え、行動してほしい。

まずは夏休み明けテストの内容から考えてみる。このテストは、中間や期末などの定期テストとは異なり、受験者数が多い。つまり、現時点(中学一年生2学期のスタート)での全国的な様子がわかるということである。そして、北中1年生は、現時点で全国平均点をほんの少し下回っている。Σ(￣▽￣;)がーんっ!

そして、このテストは、これまでの学習の総まとめであり、積み重ねが試されているのである。従って、今回はあまりにも厳しい結果である。現実として、自分たちの問題として受け取らなければならないのである。「誰かの責任」と周りを見回したとしても、結局のところやるのは自分しかいないことに気づくはずである。

先生は君たちのがんばりを見てきた。よく話を聞き、北中生として立派な姿を見せてきている。「みそあじ」を常に意識し、行動する姿は先生の間からも十分立派である。その行動面の安定感が、実は今後学力を伸ばしていく上で必要なことであり、その土台作りはずでにできあがっている人が多い。平均点を大きく超えている人もたくさんいる。しかし、先生が求めているのは、個々のがんばりとともに、**互いに声を掛け合い、学びあう1年4組の姿**である。

学校の約束として、家庭学習の時間は【学年+1時間】である。十分それができているのか再点検の時期がきたのかもかもしれない。部活動、塾、家庭の用事・・・できない言い訳は捨てるほどある。でも、いくら言い訳をしたところで、気持ちが楽になることはない。この大きな壁に真っ正面から向かっていってほしい。

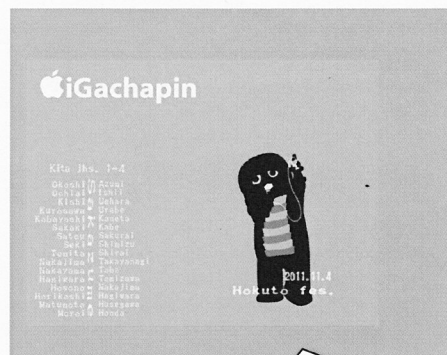
## 保護者の皆様へ

小学校の通知表と大きく異なり、直球勝負の結果が子供たちに向かって投げ込まれていきます。しかし、この直球を呆然と見逃したり、慌ててバットを振って空振りしたり、最悪デッドボールなんてことも・・・

子供たちは、全力で立ち向かっていくでしょう。しかし、ほんの少しの甘えや気のゆるみから、進むべき方向を見失うこともあります。子供たちの気持ちにより添うとともに、大人として冷静に分析し、何が足りないのか?をじっくり相談しながら今後の学習に役立ててほしいと思います。

単なる通過点ですが、その通過点でしっかりと自分のペースを作り、目標を見定めて励ましてほしいです。

可能性の固まりの子供たちに自信と勇気を与えてあげてください。



合唱コンクール用のCDを作成しました。是非とも家庭で聞いてください。そして、一緒に歌い、合唱のすばらしさを感じてほしいなと思います。